

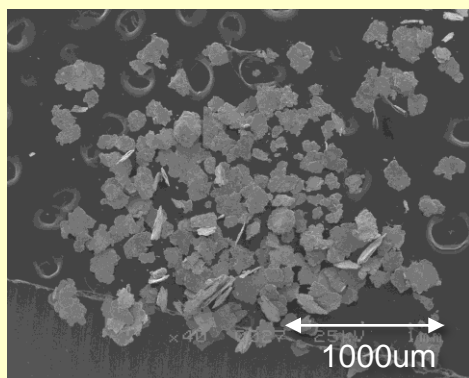
Fe,Ni,Cu等の鱗片状金属粒子の紹介

従来技術 → 鱗片状粒子の合成方法と形状制御の限界

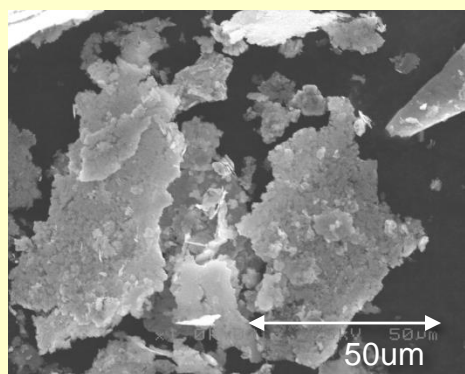
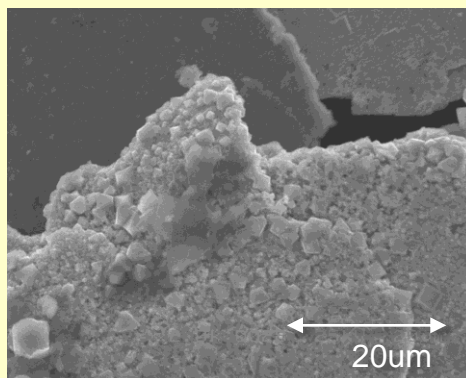
従来、鱗片状粒子の作製方法として、代表的な製法は二通りある。一つは前駆体として金属箔を形成してから粉碎して鱗片状粒子にする製法である。もう一つの製法はアトマイズ法により前駆体となる球形状粒子を作製し、この粉を粉碎する過程において圧延するような条件で鱗片状にするものである。この製法ではどちらも溶融させて前駆体を形成し粉碎するために工程が複雑であり、また硬い金属系では鱗片状粒子を作製できない課題があった。

当社の新製法で作製した粒子の紹介

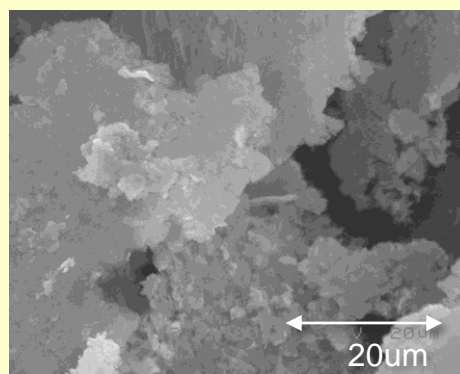
当社が新しく開発した合成方法においては例えば、以下のようにFe,Ni,Cu金属元素の鱗片状粒子を容易に作製でき、少量での生産対応も可能である。鱗片状粒子の形状制御はある程度可能である。対応できる元素や合金組成に関してはある程度、理論的には作製が可能である。サイズの制御についても同様である。



Cu flake particles



Fe flake particles



Ni flake particles

用途 鱗片状粒子の応用例としては導電性塗料、電磁波シールド、磁気シールド、顔料等があります。ユーザーの要求に応じて様々な粒子の作製します。興味がありましたら担当者にお問い合わせ下さい。